

【報告書】

ウォーカブル社会実験

# きたかみウォーカブルチャレンジ

北上市都市整備部都市再生推進課

# 目次

---

1.背景、目的

2.きたかみウォークブルチャレンジの概要

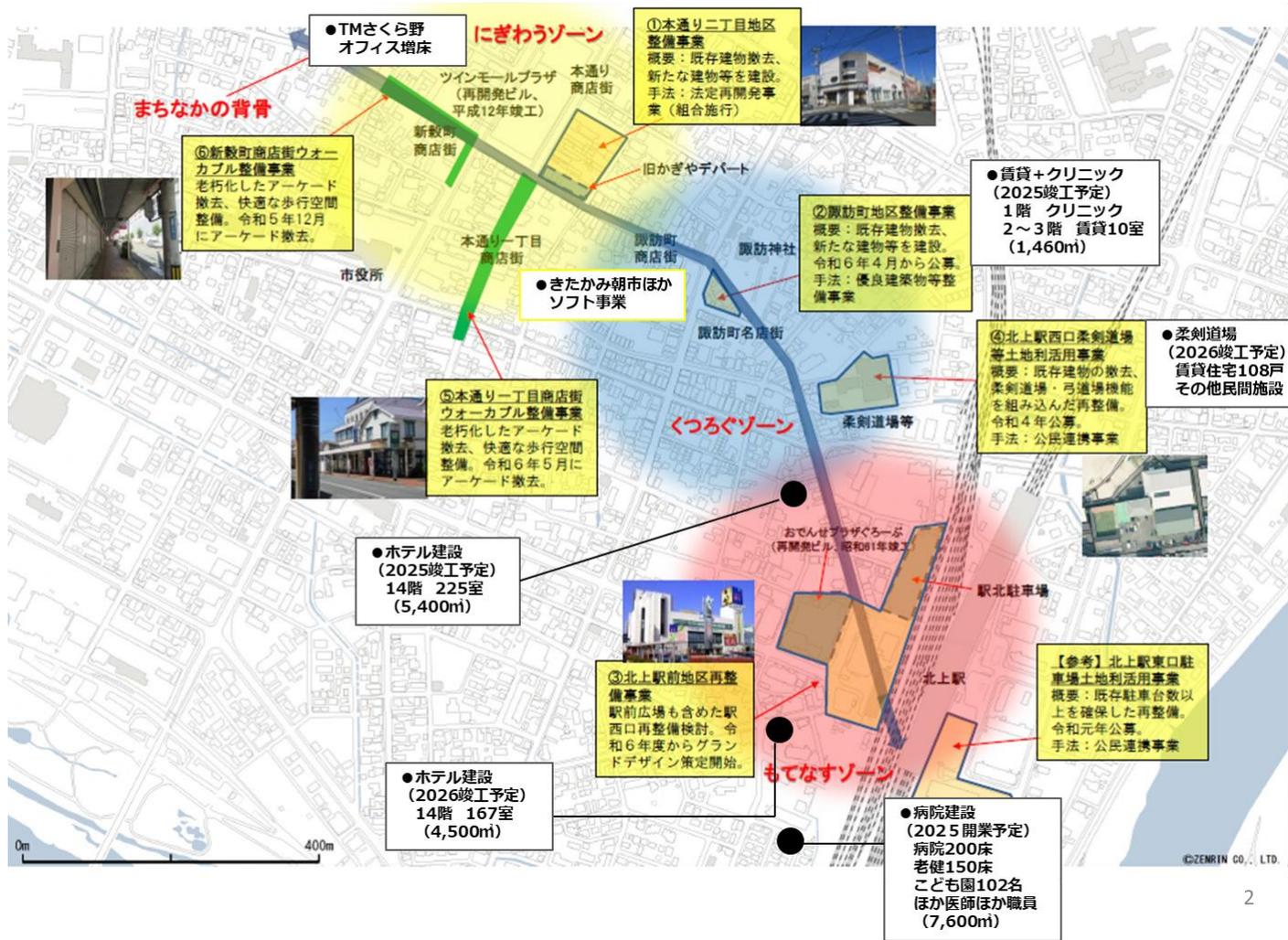
3.社会実験の結果

4.今後検討する課題

5.まとめ

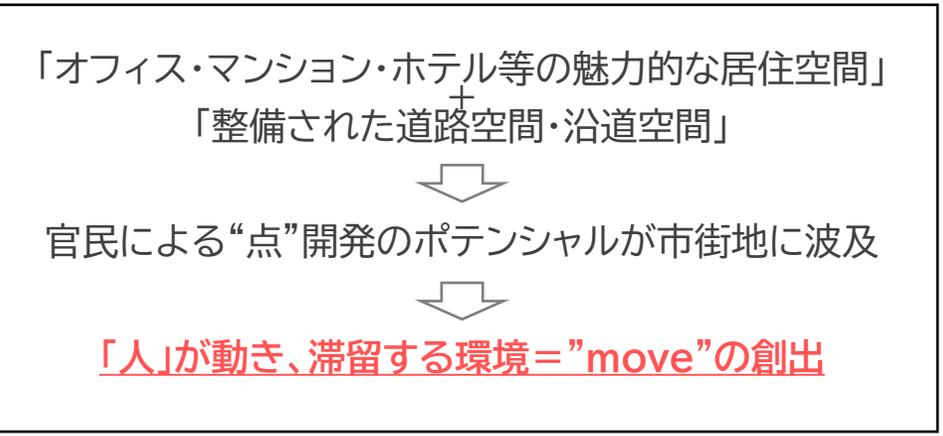
6.参考資料

# 1. 背景、目的



- “点”としての拠点整備は民間開発も含め盛んな状況
- しかし既存の市街地では未来ビジョンに掲げるコンセプト”move(「人」が動き、滞留する)”環境が不十分

ウォーカブルな道路整備を行うことで、沿道空間における民間投資を誘発し、まちなかの官民含めた開発事業と繋げることがまちの魅力を高め、人が動き、滞留する⇨にぎわいの創出につながる。



# 1. 背景、目的

## 北上市ストリートデザイン推進会議 ～北上駅鍛冶町線の将来構想を検討～

北上市ストリート  
デザイン推進会議  
(官+民)

道路空間検討  
部会  
(官主体)

沿道空間検討  
部会  
(民主体)

- 「居心地が良く歩きたくなる道路」は、車中心の道路ではなく、人中心の道路。
- 人に歩いてもらう、滞留してもらう空間においては、沿道空間の在り方も重要な要素。
- 沿道空間の在り方も含めた整備方針を検討する必要があるため、官民で構成する北上市ストリートデザイン推進会議を設置し、現在将来構想を検討してきました。



整備コンセプト

「人の姿が見える空間」

整備コンセプトを達成するために

- ベンチ、テーブルの設置
- キッチンカー等の出店
- 道路空間を活用したイベント
- 車両乗り入れ抑制(歩行者天国)

などのアイデアが挙げられました。



きたかみウォークブルチャレンジでは、それらの**アイデア**に**実効性があるか**確認しました。

# 目次

---

1.背景、目的

2.きたかみウォークブルチャレンジの概要

3.社会実験の結果

4.今後検討する課題

5.まとめ

6.参考資料

## 2. きたかみウォークブルチャレンジの概要

### ■ 目的

- ① 北上市ストリートデザイン推進会議で検討した将来構想に実効性があるか確認を行う。
- ② ウォークブル化を実施した場合の周辺道路に与える影響を確認する。

### ■ 確認事項

- ① **平常時と、社会実験実施時の歩行者通行量、滞在時間の変化。**
  - ・ スマホの位置情報データから歩行者通行量等を確認、分析する。
- ② **自動車交通量及び交通規制実施に伴う迂回路線・当該路線の交通量の変化。**
  - ・ 諏訪神社前の一方通行化により、自動車交通がどの路線にシフトしたかを確認する。
- ③ **沿道及び道路空間の使い方の可能性**
  - ・ 岩手大学生がスパットビルを活用し、まちなかの居場所づくりに取り組むほか、専北吹奏楽部のまちなか公演や路上フリマを開催し、沿道、道路空間の使い方の可能性を探る。
  - ・ まちなかを歩くポールウォーキング（市・まちの保健室の事業の一つ）で実験区間を歩き、若者だけでなく高齢者も含めた多様な世代が歩く、滞留する空間を作ることができるか確認する。
- ④ **沿道のビジネスチャンス**
  - ・ ストリートデザイン推進会議では、カフェやパン屋さんがあれば整備コンセプトに近付けるのではないかと、という意見があった。実験期間中、沿道の空き店舗に出店するのは難しいため、それらを含めたキッチンカー等に出店してもらい、需要があるか確認する。

## 2. きたかみウォーカーブルチャレンジの概要

### ■ 実施期間

令和7年9月22日(月)～9月28日(日) 7日間

### ■ 実施範囲

諏訪町名店街入口～ミニストップ交差点まで

(下図参照)



## 2. きたかみウォークブルチャレンジの概要



- ▶ 諏訪神社前を一方通行化
- ▶ 規制区間にベンチ、テーブルを設置
- ▶ キッチンカーも出店



- ▶ 諏訪町商店街の北側歩道にベンチ、テーブルを設置

## 2. きたかみウォークブルチャレンジの概要



- ▶ 期間中、スパットビルは岩手大学・杉田先生のゼミ生が「まちなかりビングラボ」を実施
- ▶ 9月23日(火)は任意団体「ゆきわたり工房」が子ども向けイベント「ぱくぱく縁日」を開催



- ▶ 「まちの保健室」で行っているポールウォーキング。実験に合わせ目的地を諏訪神社に設定。

## 2. きたかみウォークブルチャレンジの概要



▶ 9月26日(金)の様子。ベンチで休憩する家族、高齢者の姿が見られた。

## 2. きたかみウォークアブルチャレンジの概要



- ▶ 9月28日(日)のきたかみ朝市。来場者は久々に1,000名を超えた。

# 目次

---

1.背景、目的

2.きたかみウォークブルチャレンジの概要

**3.社会実験の結果**

4.今後検討する課題

5.まとめ

6.参考資料

### 3. 社会実験の結果（人流データの分析結果）

#### ■ 確認事項

スマホの位置情報データから歩行者通行量等を確認、分析する。

#### ■ 確認方法

Agoop社が保有する位置情報データを購入し、分析を行いました。

Agoop社は位置情報ビッグデータ事業を行う、ソフトバンク100%出資の企業です。ソフトバンク以外も含めた数千万台の国内スマートフォンアプリから取得された位置情報を提供しています。

特定のキャリアに限定されない、マルチキャリアの大規模な位置情報データです。

プライバシーを考慮し、厳密なデータの取り扱いをおこなっています。



#### 個別同意(オプトイン)の取得

##### 同意を得たユーザーのデータのみ取得

【例：当社アプリ WalkCoin の同意画面】

- 位置情報取得目的についての承諾
- 第三者に対する情報提供について
- 提供先の第三者での個人情報への紐付けの禁止について
- オプトアウト（追加取得されない仕組み）について

※弊社のプライバシーポリシーは日本語によるものが中心です。

#### 統計加工・秘匿化処理

##### プライバシー保護対策済み

位置情報データ（緯度経度・時刻・その他情報）は、単体では特定の個人を識別できない個人関連情報（個人情報保護法における分類）に該当しますが、日をまたいで連続する情報の積み上げによって、個人を特定できる可能性が高まるリスクが存在します。

そのようなリスクを避けるため、統計データ加工や、位置情報が居住地周辺と推定される場合は、該当する位置情報データを削除するなどの秘匿化処理を行い、プライバシー保護対策を実施しております。



※同意を得ていないユーザーの位置情報データは一切収集しておりません。また、氏名・住所などの個人特定できる情報は含まれておりません。

# 3. 社会実験の結果 (人流データの分析結果)

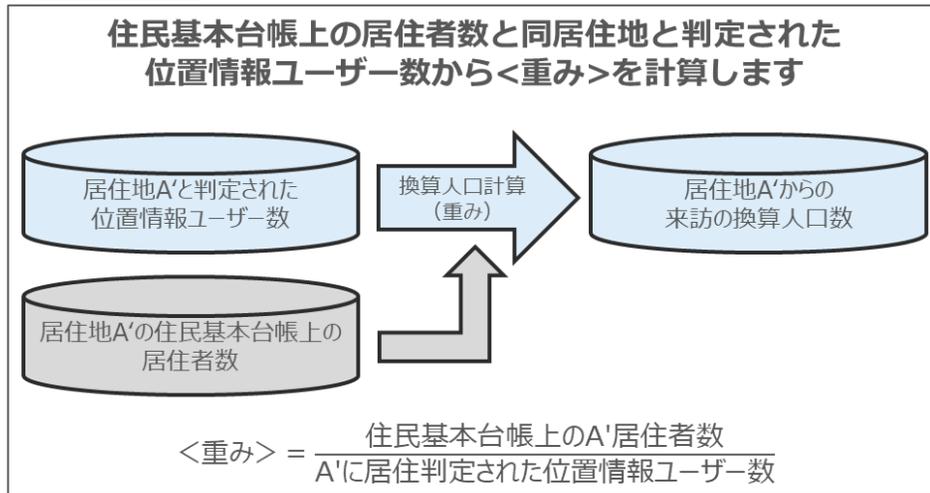
## ■ 利用データについて(換算人口)

本分析において、各施設における平日・休日の1日あたりの来訪者数は以下の通り換算します。

【位置情報ユーザーAの居住地がA'の場合】

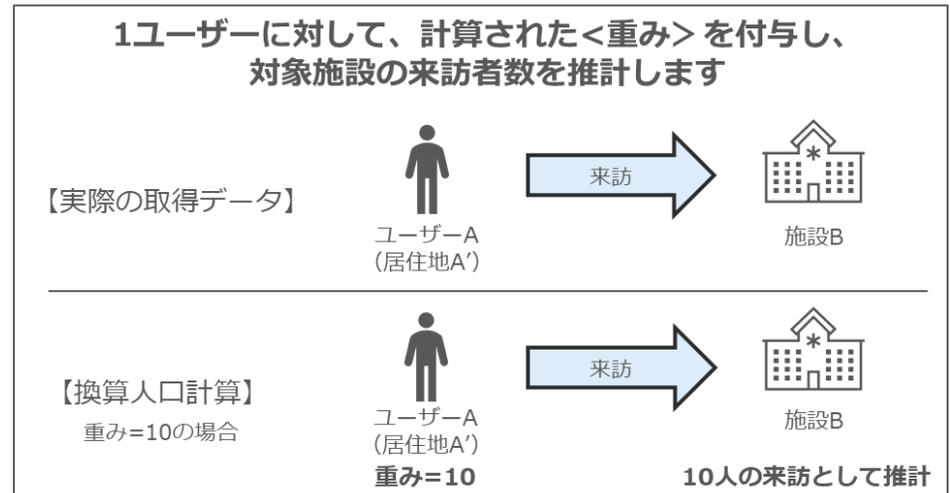
換算人口は、居住地A'における住民基本台帳上の居住者数と同居住地におけるAgoopが取得する位置情報ユーザー数を参照して、ユーザーAを含む居住地A'に居住する位置情報ユーザーが何人分を代表しているかの<重み>を計算します。

### 換算方法



※場合によっては上記から補正する場合があります。

### 適用例



### 3. 社会実験の結果（人流データの分析結果）

#### ■ 対象期間・対象エリアについて

比較用期間①：

2025年9月1日（月）～9月7日（日）

比較用期間②：

2025年9月8日（月）～9月14日（日）

実証実験期間：

2025年9月22日（月）～9月28日（日）

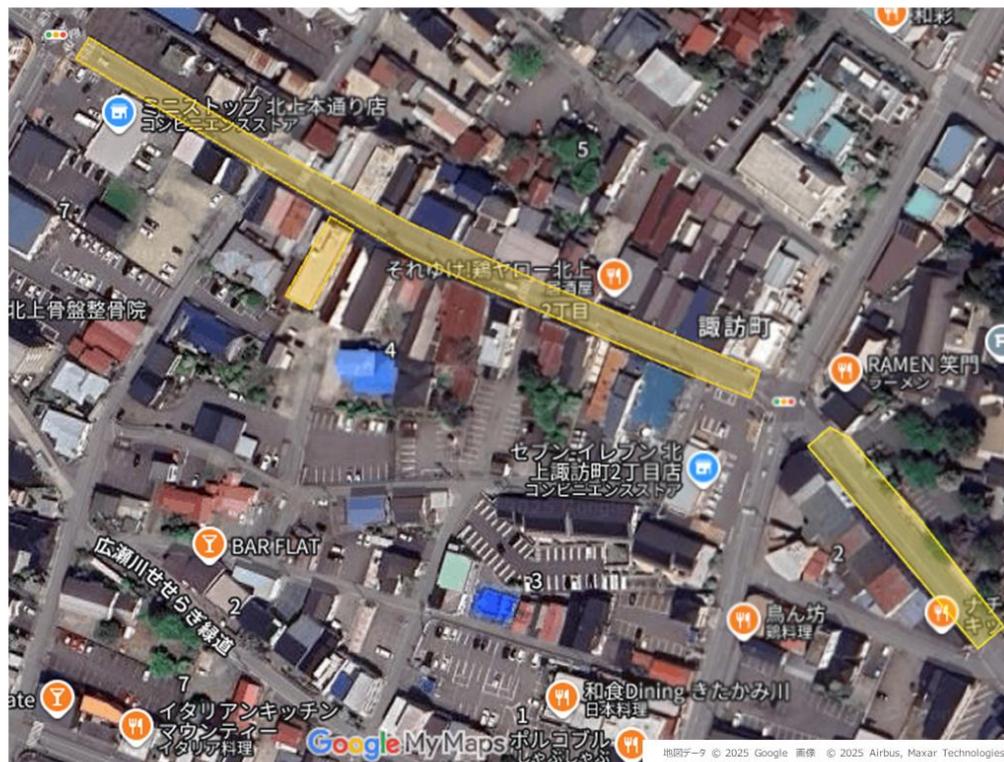
エリア：

- ・ 諏訪神社前エリア
- ・ 諏訪町商店街エリア（スパットビルを含む）

対象とする交通モード：

- ・ 徒歩（10 km/h 未満）
- ・ 自転車（10 km/h 以上 30 km/h 未満）

※数%ですが、速度データが無効値となっていたものも対象に入れております。



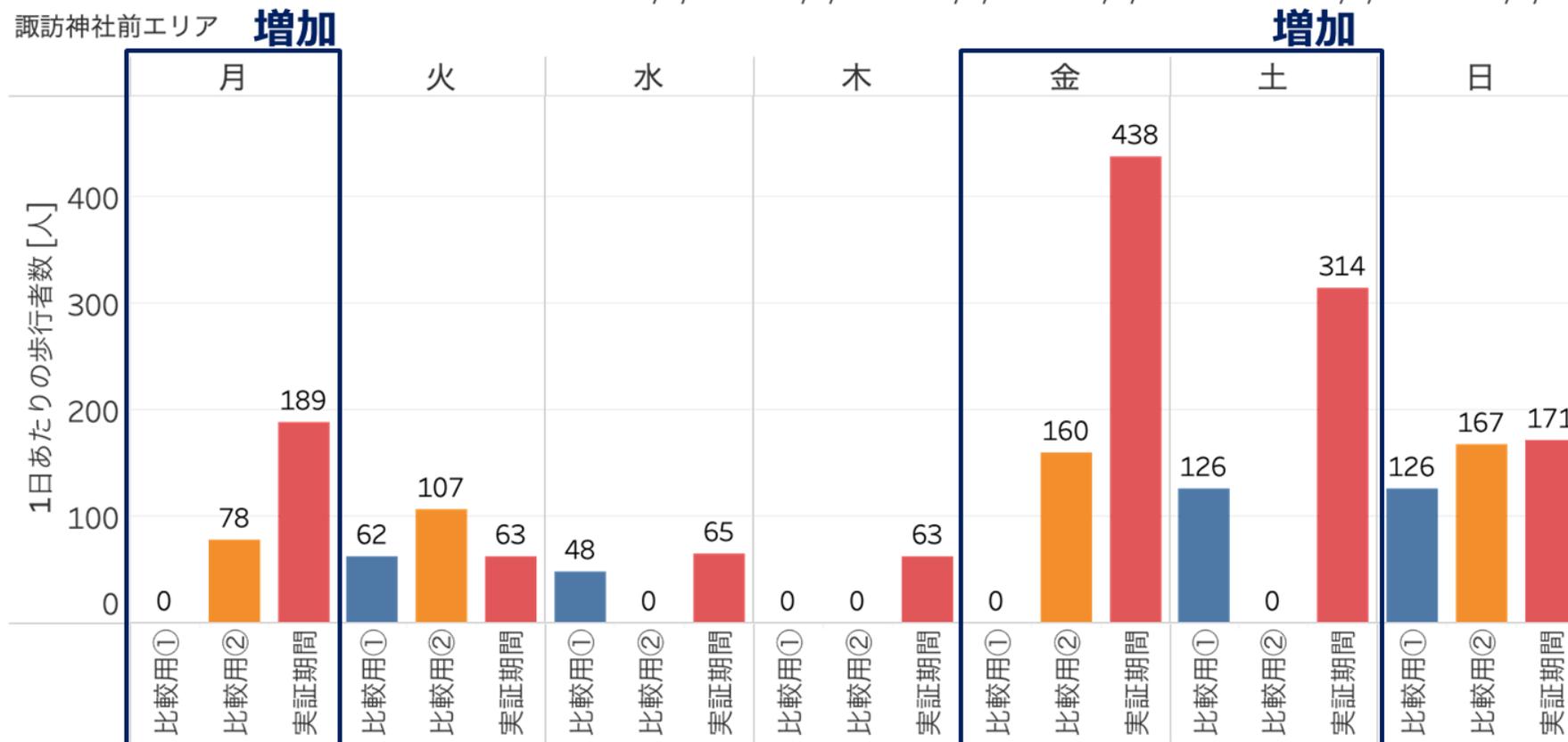
# 諏訪神社前エリア



### 3. 社会実験の結果（人流データの分析結果）

#### ■ 曜日別歩行者数の比較

集計期間：2025/9/1 - 2025/9/7、2025/9/8 - 2025/9/14 および 2025/9/22 - 2025/9/28



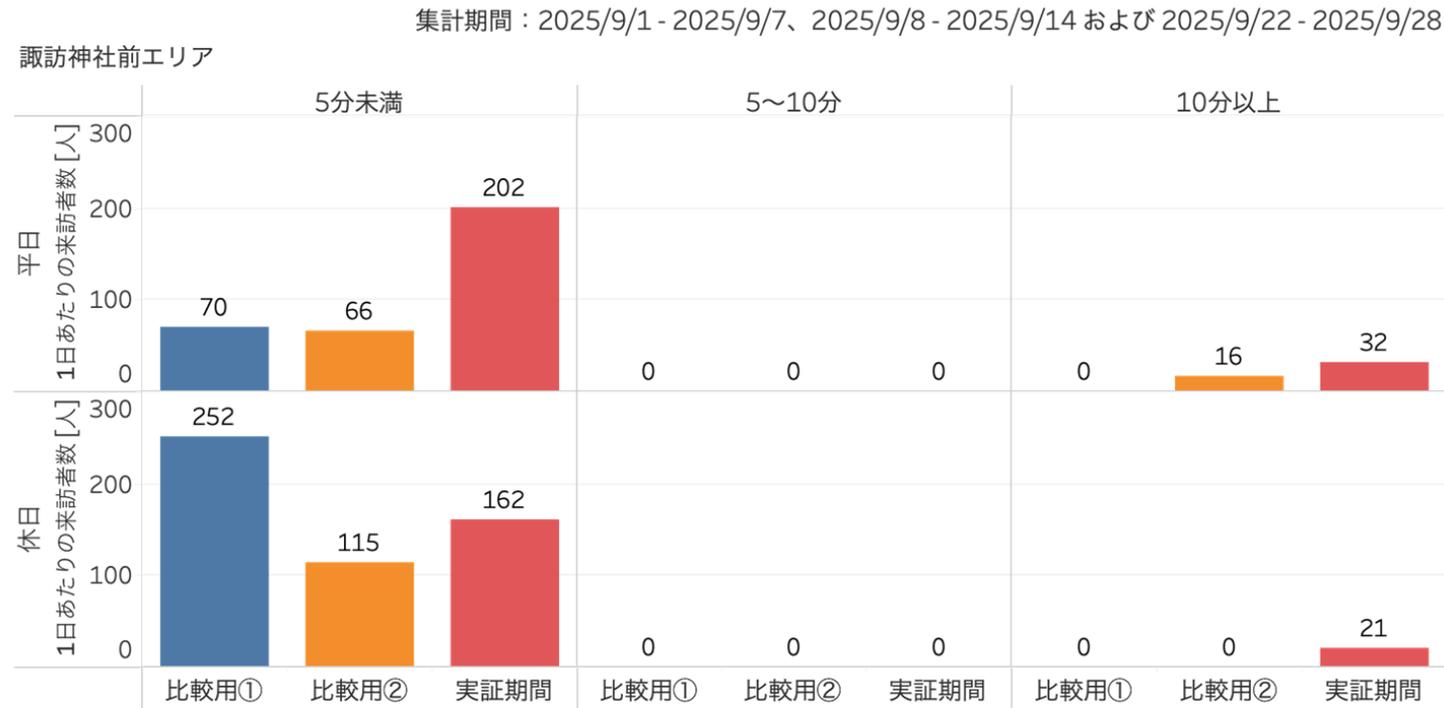
出典：Agoop社「ポイント型流動人口データ」サービスのデータを用いて、MONET Technologies作成。  
データは各集計期間（7日間）において、エリア内に滞在した対象数（徒歩のみ）を人口換算したものの。0はデータが取得できていないことを意味する。

### 3. 社会実験の結果（人流データの分析結果）

#### 滞在時間別来訪者数\*の比較 \*エリア内に滞在した対象数(自動車以外)

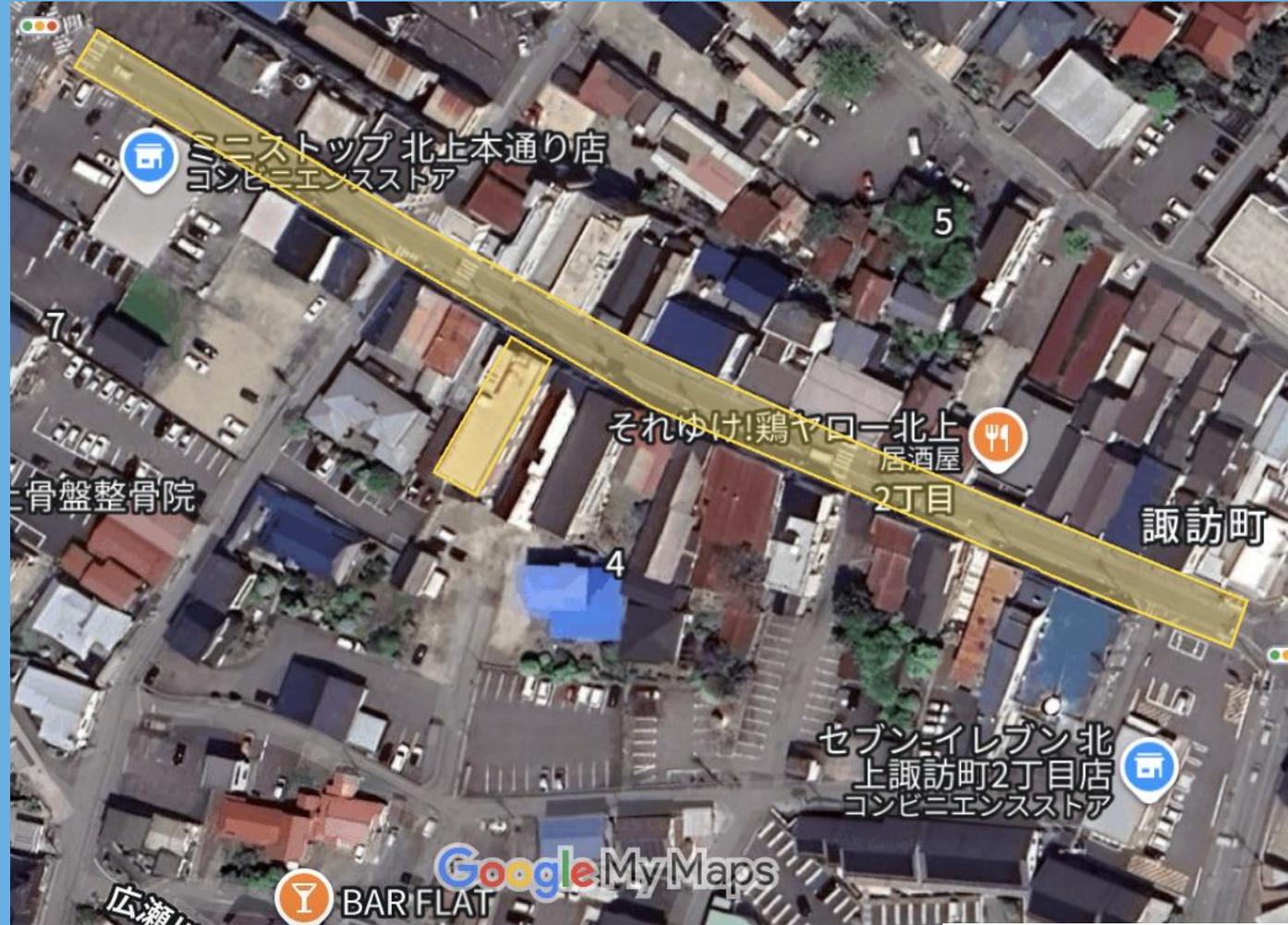
実験期間中もそれ以外も、5分未満の滞在が中心となっている。

10分以上滞在した方は、実験期間中が一番多く、設置したベンチ、テーブル等は一定の効果があったと言える。



出典：Agoop社「ポイント型流動人口データ」サービスのデータを用いて、MONET Technologies作成。  
データは各集計期間（7日間）において、エリア内に滞在した対象数（自動車以外）を人口換算したもの。0はデータが取得できていないことを意味する。

# 諏訪町商店街エリア (スパットビルを含む)

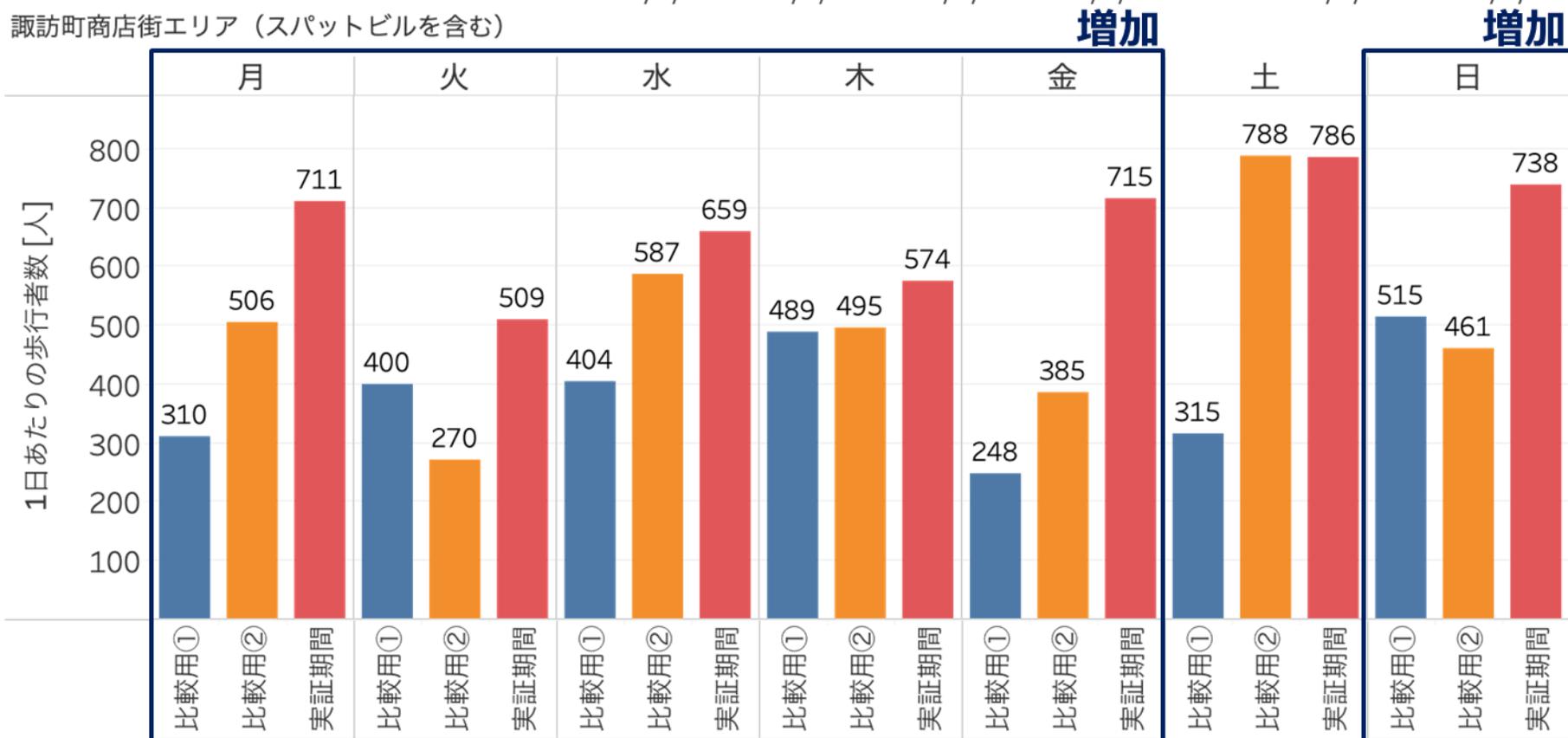


### 3. 社会実験の結果（人流データの分析結果）

#### ■ 曜日別歩行者数の比較

通常期間と比較して、土曜日以外は歩行者数が増加していた。  
ウォークアブルな空間を設けたことが影響している可能性がある。

集計期間：2025/9/1 - 2025/9/7、2025/9/8 - 2025/9/14 および 2025/9/22 - 2025/9/28  
諏訪町商店街エリア（スパットビルを含む）

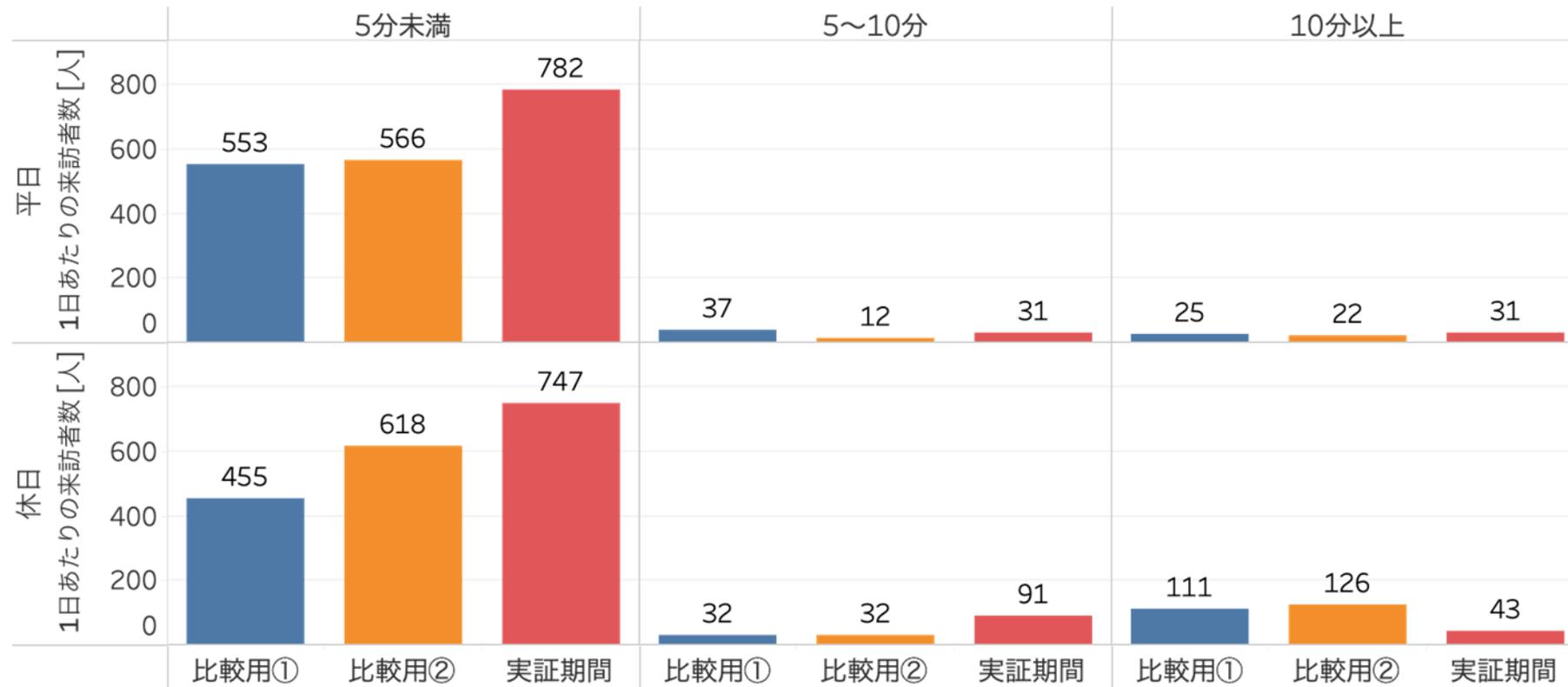


出典：Agoop社「ポイント型流動人口データ」サービスのデータを用いて、MONET Technologies作成。  
データは各集計期間（7日間）において、エリア内に滞在した対象数（徒歩のみ）を人口換算したもの。0はデータが取得できていないことを意味する。

### 3. 社会実験の結果（人流データの分析結果）

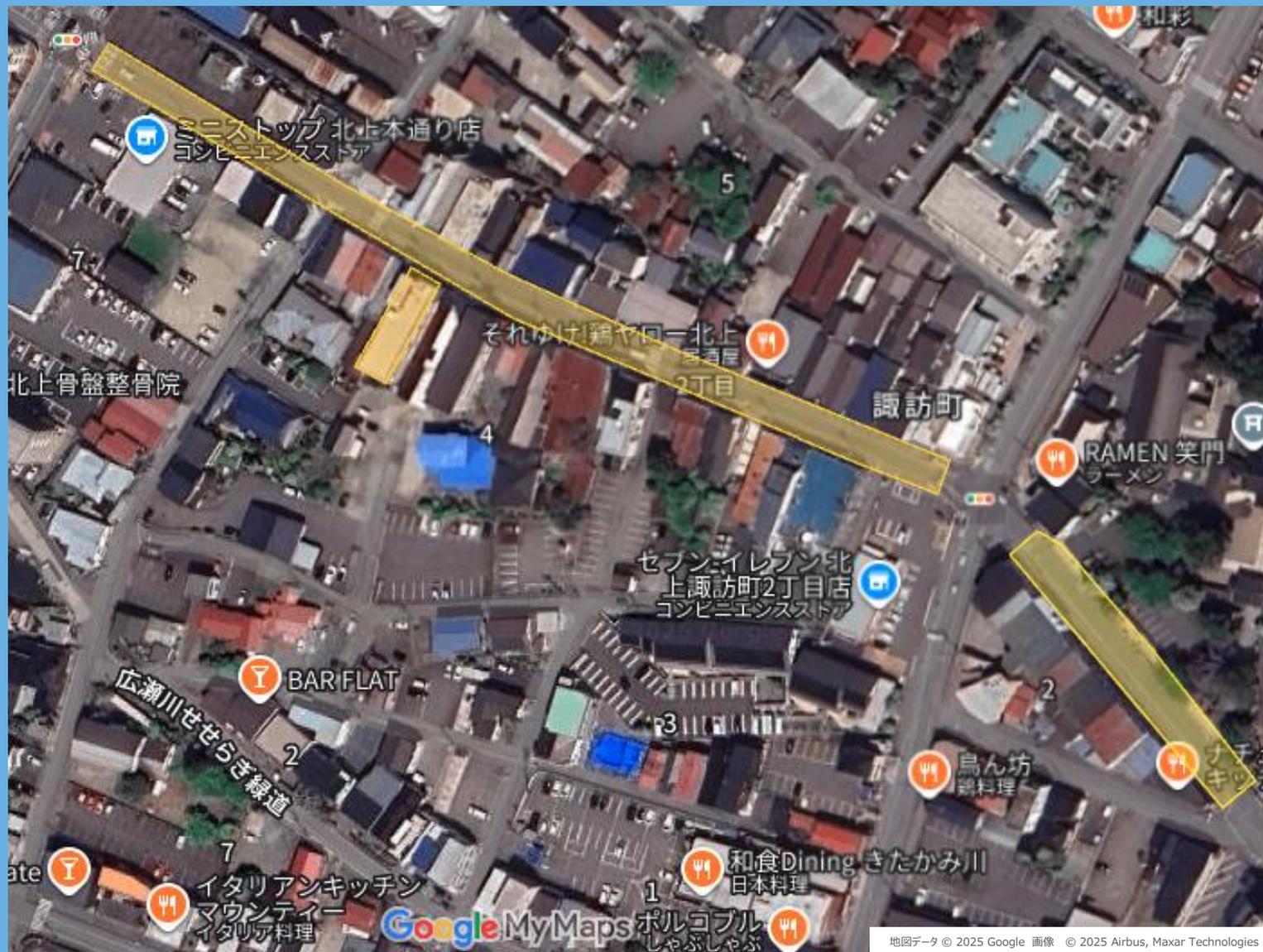
#### ■ 滞在時間別来訪者数\*の比較 \*エリア内に滞在した対象数(自動車以外)

集計期間：2025/9/1 - 2025/9/7、2025/9/8 - 2025/9/14 および 2025/9/22 - 2025/9/28  
 諏訪町商店街エリア（スパットビルを含む）



出典：Agoop社「ポイント型流動人口データ」サービスのデータを用いて、MONET Technologies作成。  
 データは各集計期間（7日間）において、エリア内に滞在した対象数（自動車以外）を人口換算したもの。0はデータが取得できていないことを意味する。

# 出発地・到着地の分析



### 3. 社会実験の結果（出発地、到着地の分析）

#### 分析における前提条件と定義

##### ■ エリア：

右図に示す社会実験エリア

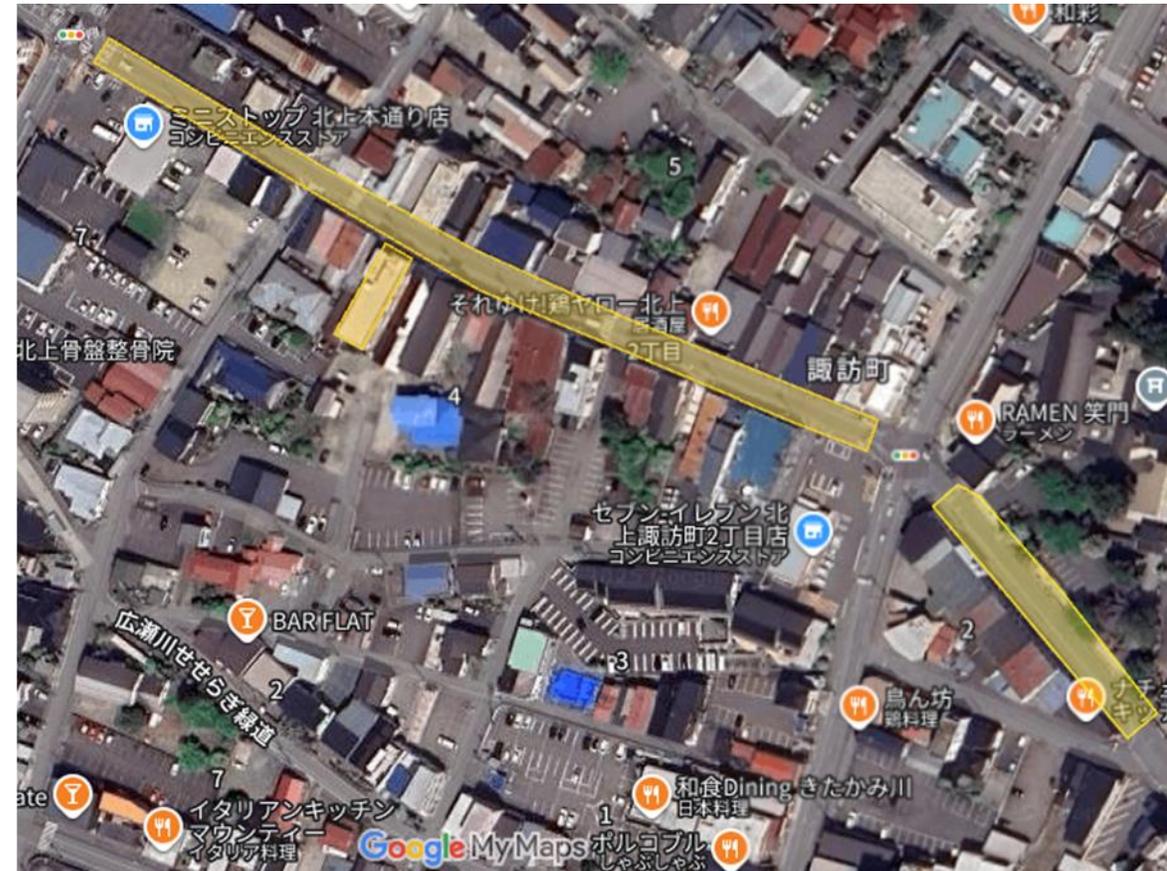
##### ■ 対象とする交通モード：

- ・ 徒歩（10 km/h 未満）
- ・ 自転車（10 km/h 以上 30 km/h 未満）

※数%ですが、速度データが無効値となっていたものも対象に入れております。

##### ■ 出発地・到着地の定義：

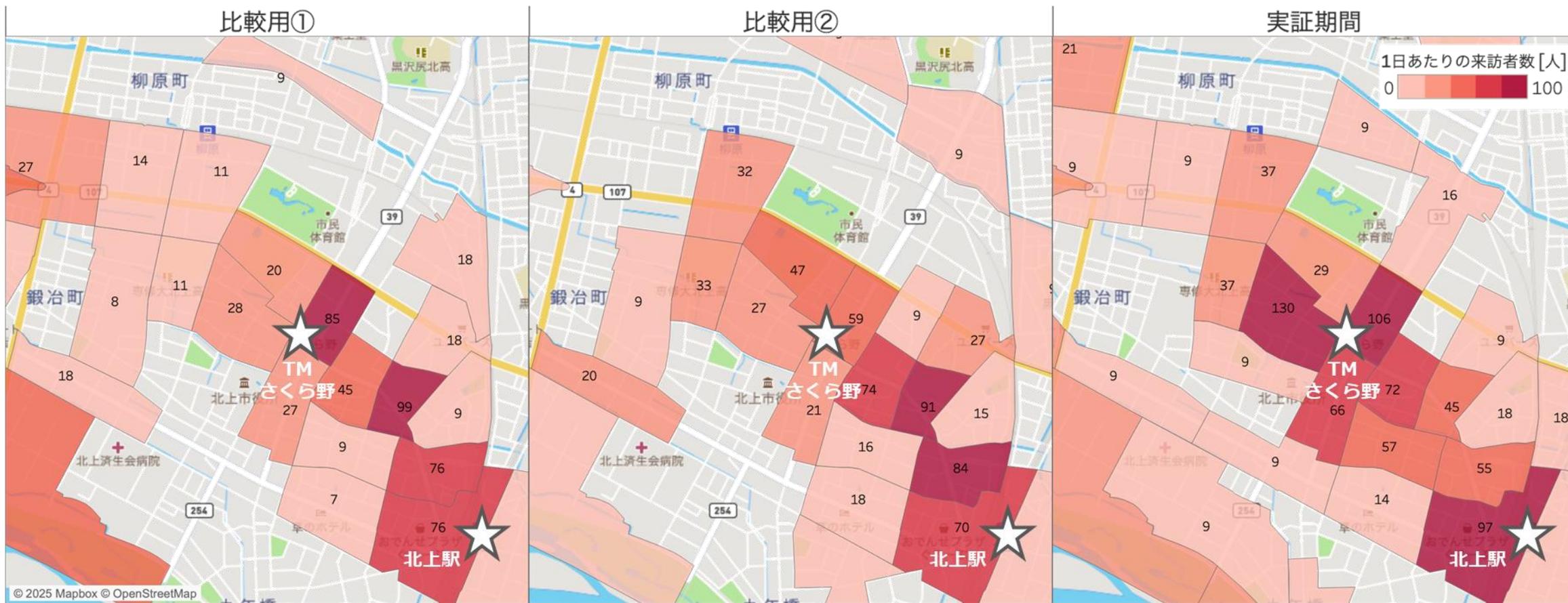
ウォーカブルエリアに来訪する前 / 来訪した後に10分以上滞在した場所を出発地・到着地と定義しました。



# 3. 社会実験の結果 (出発地、到着地の分析)

## 出発地の分析

集計期間：2025/9/1 - 2025/9/7、2025/9/8 - 2025/9/14 および 2025/9/22 - 2025/9/28



出典：令和2年国勢調査 町丁・字等境界データ、およびAgoop社「ポイント型流動人口データ」サービスのデータを用いて、MONET Technologies作成。データは各集計期間（7日間）において、ウォークアブルエリア内に滞在した対象数（自動車以外）を人口換算したものの。

# 3. 社会実験の結果 (出発地、到着地の分析)

## 到着地の分析

集計期間：2025/9/1 - 2025/9/7、2025/9/8 - 2025/9/14 および 2025/9/22 - 2025/9/28



出典：令和2年国勢調査 町丁・字等境界データ、およびAgoop社「ポイント型流動人口データ」サービスのデータを用いて、MONET Technologies作成。  
データは各集計期間（7日間）において、ウォークブルエリア内に滞在した対象数（自動車以外）を人口換算したものの。

### 3. 社会実験の結果（自動車交通量、迂回路線の交通量的変化）

#### ■ 確認事項

諏訪神社前の一方通行化により、自動車交通がどの路線にシフトしたかを確認する。

#### ■ 交通量の増減

商店街エリアの交通量は通常期間と比較して少し減っているが、諏訪神社前の道路の交通量は殆ど変化がなかった。

集計期間：2025/9/1 - 2025/9/7、2025/9/8 - 2025/9/14 および 2025/9/22 - 2025/9/28

比較用①との差



比較用②との差



※ オレンジが濃いほど、実証期間の交通量 > 比較用の交通量を意味しております。

出典：Agoop社「ポイント型流動人口データ」サービスのデータを用いて、MONET Technologies作成。  
データは各集計期間（7日間）の平日において、各道路を走行した自動車と推定される対象数を人口換算したものの。

### 3. 社会実験の結果（自動車交通量、迂回路線の交通量の変化）

#### 交通量の増減(平日7時、8時台)

- 比較用①の期間は、社会実験区間の交通量の減少が顕著
- 大天満大曲線、県道駅前線の交通量が増加しており、迂回路線として使われた可能性がある。

集計期間：2025/9/1 - 2025/9/7、2025/9/8 - 2025/9/14 および 2025/9/22 - 2025/9/28

比較用①との差



比較用②との差



出典：Agoop社「ポイント型流動人口データ」サービスのデータを用いて、MONET Technologies作成。  
データは各集計期間（7日間）の平日の7時台・8時台において、各道路を走行した自動車と推定される対象数を人口換算したもの。

### 3. 社会実験の結果（自動車交通量、迂回路線の交通量の変化）

#### 平均車速の増減(平日)

集計期間：2025/9/1 - 2025/9/7、2025/9/8 - 2025/9/14 および 2025/9/22 - 2025/9/28

比較用①との差



比較用②との差



出典：Agoop社「ポイント型流動人口データ」サービスのデータを用いて、MONET Technologies作成。  
データは各集計期間（7日間）の平日において、各道路を走行した自動車と推定される対象数の車速を平均したものの。

### 3. 社会実験の結果（自動車交通量、迂回路線の交通量の変化）

#### 平均車速の増減(休日)

集計期間：2025/9/1 - 2025/9/7、2025/9/8 - 2025/9/14 および 2025/9/22 - 2025/9/28

比較用①との差



比較用②との差



出典：Agoop社「ポイント型流動人口データ」サービスのデータを用いて、MONET Technologies作成。  
データは各集計期間（7日間）の休日において、各道路を走行した自動車と推定される対象数の車速を平均したもの。

交通量に大きな変化は見られず、かつ車速の変化もそれほどないことから、交通量ベースで見ると一方通行規制による影響はほとんどないと言える。

### 3. 社会実験の結果（沿道のビジネスチャンス）

#### ■ 確認事項

キッチンカー等に出店してもらい、需要があるか確認する。

#### ■ 出店店舗数

12店舗(9月22日～9月28日)

#### ■ アンケート回答数

5店舗(11/07時点)

#### ■ アンケート結果(10/28時点)

〈賛成の理由〉

- 地域の発展につながると思うから
- 今後、人通りの少ない商店街に少しずつでも賑わいが出ることを期待しています。
- 活性化 賑わい作りの可能性があるから

- 「ウォークアブル化を進めるべき」と回答した店舗は4店舗(1店舗は反対)
- 賛成と回答した店舗が多い一方、自由記述欄には「想像以上に人通りが少なかった」「土日の出店を通し、歩いている方が思った以上に少なかったのが本音です。」と記載があった。
- 平日、他の場所との出店と比較した際の売り上げは、1店舗を除き社会実験中のほうが「少ない」と回答した。
- 出店者の売上高トップは**コーヒー**を販売する店舗だった。(出店初日と比較し、2日目以降は売り上げが倍増した)



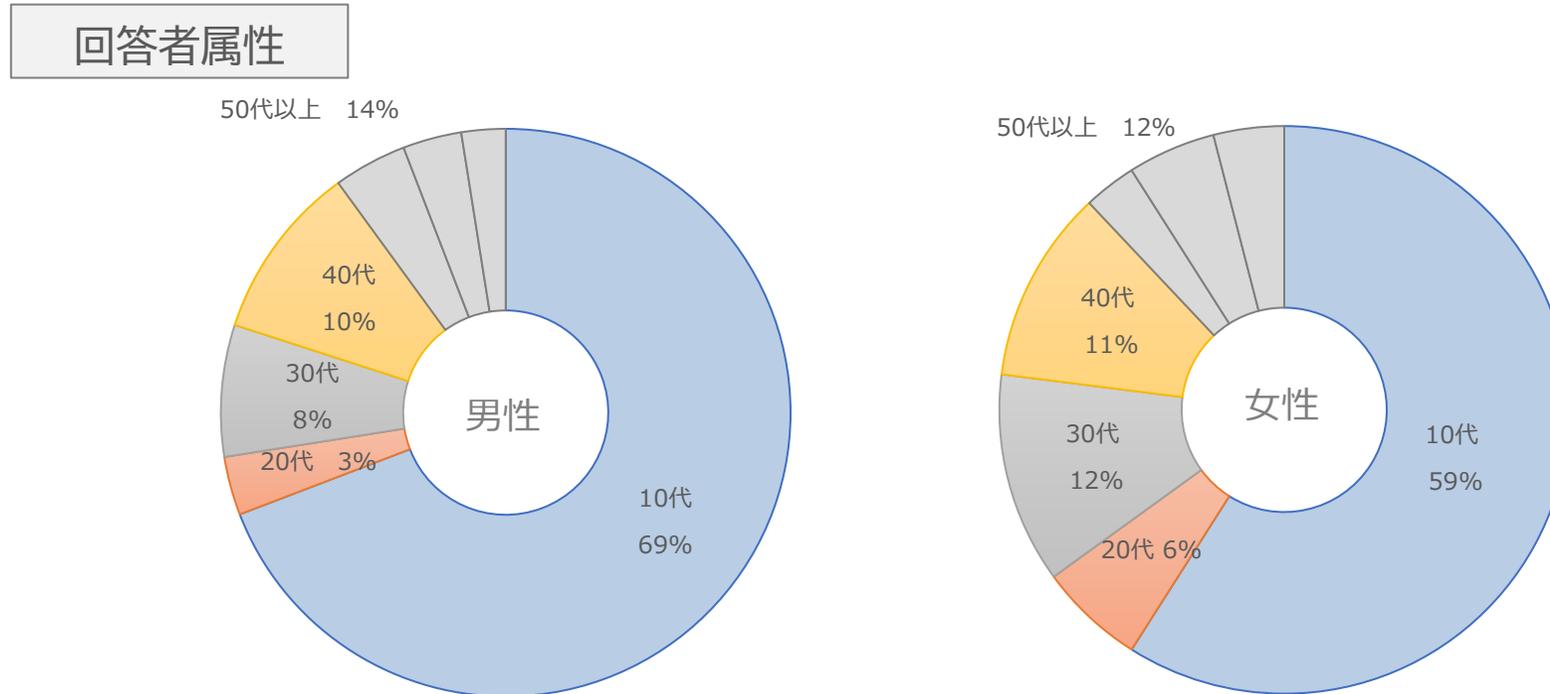
- 沿道にどのような店舗の需要があるか確認するため、キッチンカー、市内事業者に出店していただいたが、他の場所に出店した時と比較すると、今回の実験期間中の**売り上げは少なかった**。
- 普段、実験区間が通過交通の区間となっていることもあり、1週間という**短期間では出店が浸透しなかった可能性**がある。
- 一方、売上トップはコーヒーの店舗で、ストリートデザイン会議で出たアイデアは実効性がある事が分かった。

\*再度社会実験を実施した場合出店したいか、との問いには4店舗すべて「出店したい」という回答であった。



### 3. 社会実験の結果（市民アンケート）

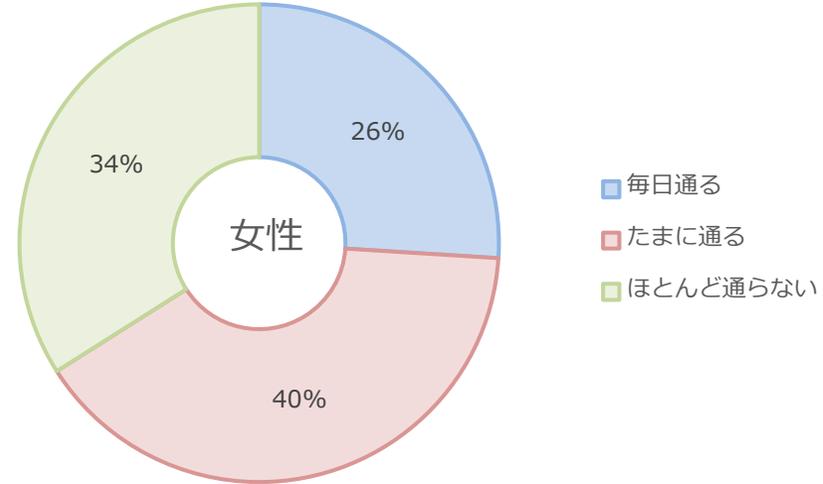
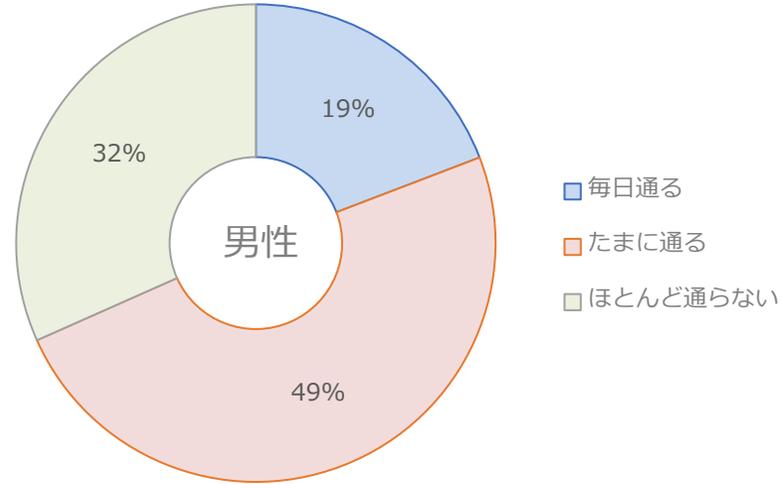
#### ① 市民全体のアンケート



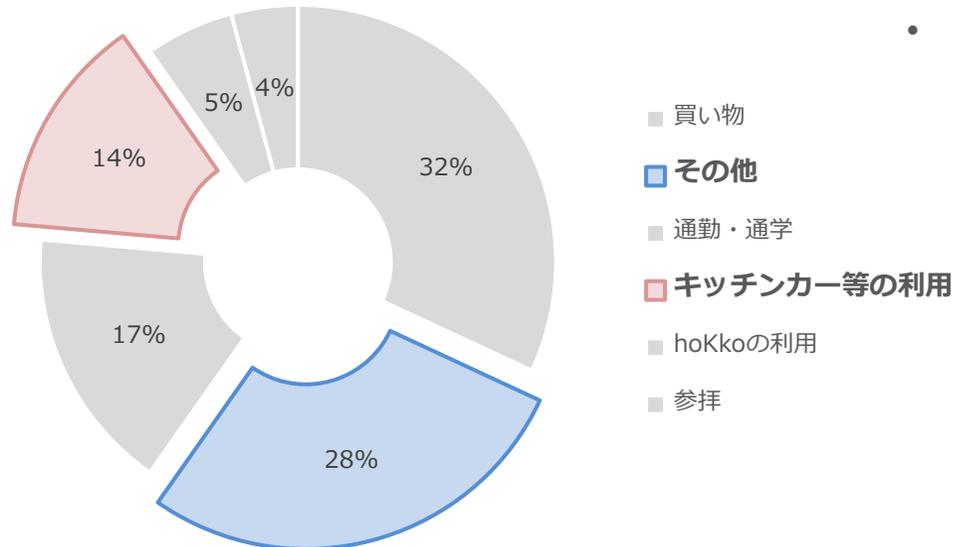
- 回答数は**221**件
- 回答者は男性、女性ともに10代が半数以上であった。
- 市外の方からの回答も65件(約30%)あった。

### 3. 社会実験の結果（市民アンケート）

実験区間の通行頻度



「ほとんど通らない」人の通行目的



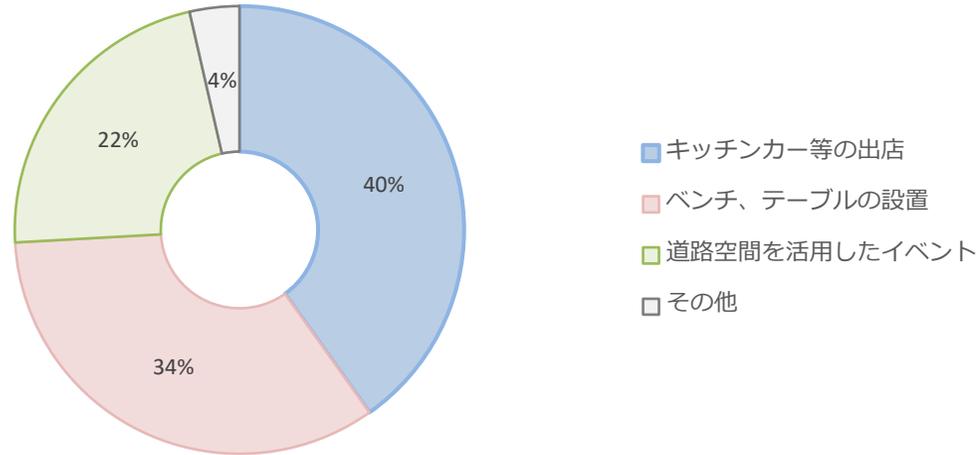
- 普段「ほとんど通らない」人も、キッチンカー等の利用目的で実験区間を通行。
- 「その他」の回答
  - ▶ 社会実験がどのようなものか、SNSでの写真ではなく、この目で見たかった。
  - ▶ 実験内容に興味があったため
  - ▶ イベントがあるらしいということを知り合いに教えてもらったから。



- ✓ 広報、新聞、SNSでの周知により一定程度市民の関心を得られた。
- ✓ ストデザ会議のアイデア(キッチンカー等)が通行目的になり得ることが分かった。

### 3. 社会実験の結果（市民アンケート）

効果があったと思う取り組み

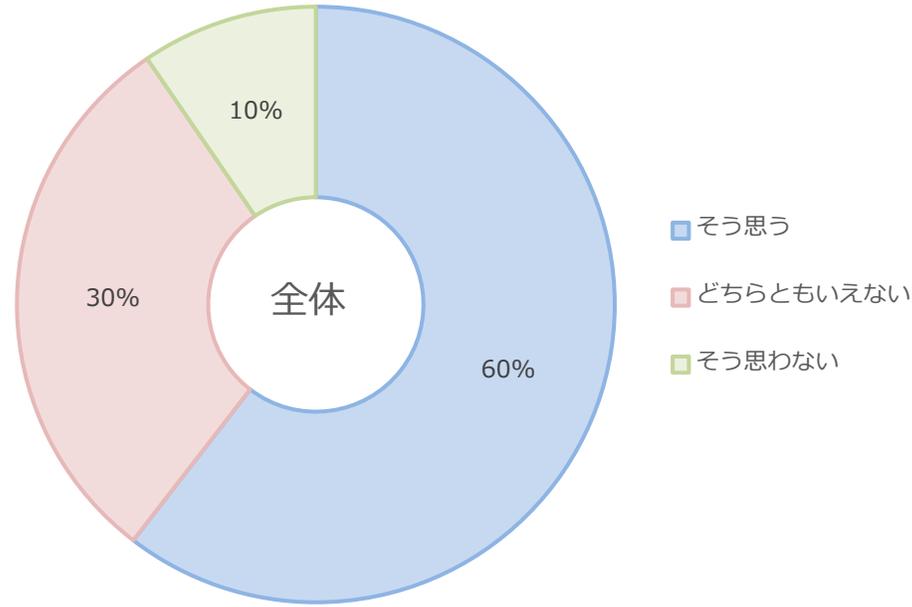


「その他」の意見

- **休憩スペースが良かった。**おしゃべり出来るし、勉強出来るし。ボードゲームもあって楽しかった。
- ベンチは良いが、**現実的な配置ではない。**
- シャッター化した通りをよみがえる対策を。おでんせで高校生が良く学習しているが、通学路にコミセンを。
- ガラス張りのスタバを建てる
- 諏訪神社前を歩行者天国にしてしまうなどしなければバリケードに囲まれた空間になってしまう。また、子連れの場合走行中の車との距離が近く危なく感じる。キッチンカーやテナントと連動して椅子などを配置しないと何故ココに椅子やテーブルがあるのか意図が分からない。
- パラソルなど、**日差しの対策**があればいいかと思う
- **自家用車の利用を抑制**する。

### 3. 社会実験の結果（市民アンケート）

ウォークブル化がまちの魅力向上につながるか

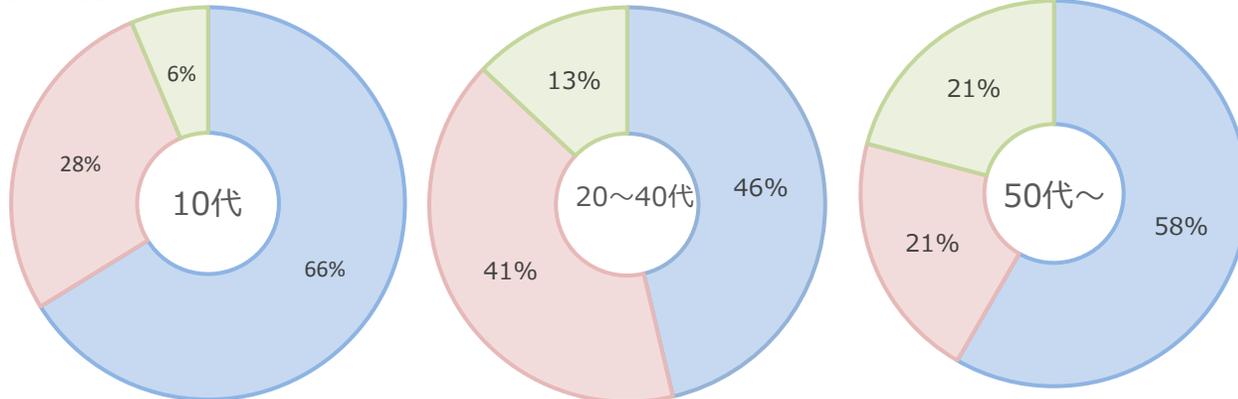


- ✓ 全体では6割の方が効果があると回答
- ✓ 年代別では若年層ほど効果があると回答している。
- ✓ 20～40代は「どちらともいえない」が「そう思う」と拮抗



→10代は新たな取り組みに興味を持ち「そう思う」と回答した可能性が高い。  
→20～40代は、当市で前例のない取り組みだったこともあり、判断がつかなかったことも想定される。

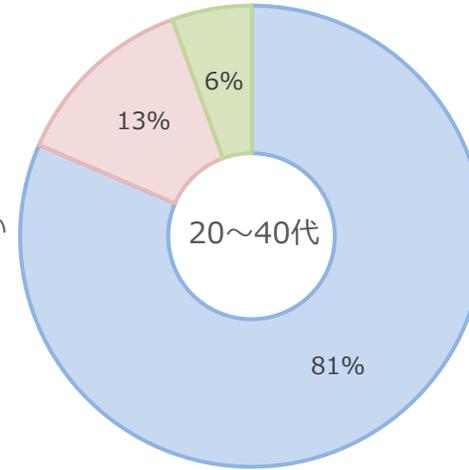
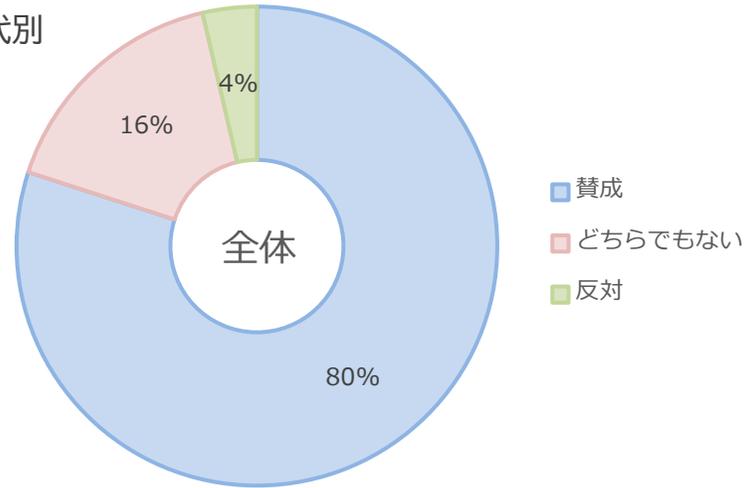
【年代別】



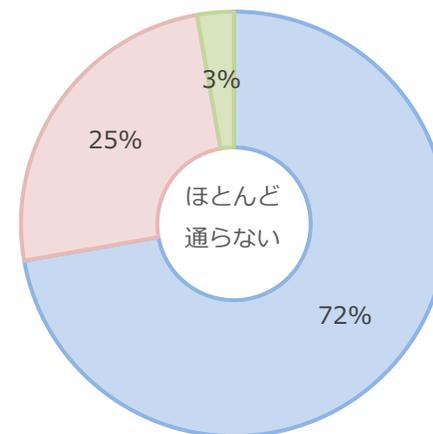
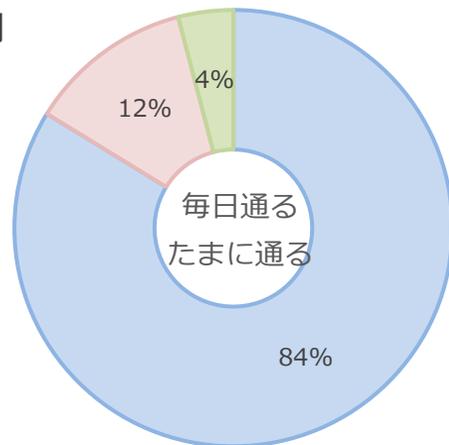
### 3. 社会実験の結果（市民アンケート）

#### ウォークブル化に賛成か反対か

年代別



通行頻度別



- ✓ 全体では賛成が多数
- ✓ 前問で「どちらでもない」の回答が多かった20~40代も賛成が8割
- ✓ 通行頻度が高い人も、「ほとんど通らない」人も「賛成」と回答している割合が高い。

### 3. 社会実験の結果（市民アンケート）

#### ウォークブル化に賛成か反対か

##### 反対の方の意見(全件)

- 必要だと感じない(10代 男性 学生)
- 道が通りにくいから(10代 男性 学生)
- 歩道が狭く人が多いと歩きづらいから(10代 女性 学生)
- ベンチとテーブルが邪魔、自転車で通る際、折角の自転車レーンが塞がってしまい危険でさえある。せっかく税金をかけて自転車レーンを整備したのに市は何をしたいのかわからない(税金の二重の無駄遣い)。4月～10月位は気温的にはいいだろう、**ただ冬場はどうする？まさか北上の11月～3月を無視したプランなのだろうか？**「まちなかにひとの姿がみえる空間」というコンセプトは素晴らしいが短絡的なプランとしか思えない。そもそも「物理的に見える」ことが重要ではないと思う。もっと大きな問題があるのでは？いつまでその問題から北上市は目をそらすのか。あと二十年後本当に知りませんよ。役所がパンクしますよ。私もその一人になりかねませんが…。控えめにいってですが、このプランを考えた人達まったくもって**センスのかけらもない**です。(40代 男性 無職)
- 歩くのは大変なので車で通るだけです。(60代 女性 公務員・団体職員)
- 北上市はほとんどが車社会で車が必需品。**無料の駐車場が無いと歩いて見るという気にはならないと思う。**一方通行などの道路は遠回りをしなければならず不便なので嫌煙されがちだと思います。まずはさくら野や周辺、諏訪商店街の空き店舗活性化を先に考えた方がいいのではないかと思います。諏訪神社前は歩道も狭く、ベビーカーや子供達が歩くのも道路がガタガタで子育て中の親は中々歩きにくいです。**活性化より先に道路の舗装、補修などを最優先にしてほしい**なと思いました。(30代 女性 家事専業)

### 3. 社会実験の結果（市民アンケート）

#### ウォークブル化に賛成か反対か

##### 賛成の方の意見(抜粋)

- **人が歩くまちは魅力のある賑わうまち**だと思います。たくさんの学生が行きかうようになればいいなと思います。(20代 女性 公務員・団体職員)
- 通学が歩いて楽しくなったらいいと思ったから(10代 男性 学生)
- 車だけでない交通手段により市内の商店を活性化することが可能であること、さらに高齢者や小さ子ども連れた家族連れにも有効になると考えます。しかし、**駐車場をどこにするかなどの課題もある**かと思います。(40代 男性 会社員)
- さくら野で**買い物のついでなどに街歩きを楽しめると、子供と過ごす時間が充実**するため。実際に歩くとシャッター街なので面白いと思うことはあまりないですが…。ただ、物価高のなかあまりお金を使いたくないので、キッチンカーやクラフト系の出店が出るようなイベントは避けてしまいます。(30代 女性 公務員・団体職員)
- **街には商売や活動をする【人】が必要です。建物だけがあっても価値はありません。**道路という見える場所で、イベントという一時的な形とはいえ行政の方々と民間の方々が一生懸命何かを形にしたいとチャレンジしているのは本当に感謝していますし、応援しています。警察の方々も賑わい作りを応援してくれて、素晴らしいと思います。一時的なイベントではなく常に商いがある場所として再生するために更なる取り組みをお願いいたします。(40代 男性 会社員)
- 自分の年代からして、社会との繋がりを持てる場所がある事は良い。年をとっても、ワクワクしたりして楽しみたい。今回、お天気も良くて、町の保健室で知り合った方々で行ってみた。設置されたテーブルでお茶を頂き、お喋りを楽しんだ。とても、楽しい時間でした。**気軽に休める場所があるなら、ウォーキングも続きそう**です。(70代以上 女性 家事専業)
- 北上市に移住してきて2年程度ですが、車移動が基本なので初めてこの商店街を歩きました。じっくり歩いてみて初めて知るお店がありました。**この街を再発見できる良い機会になりました！**また、育休中で暇なのでぜひこのようなイベントをたくさんしてください！(20代 女性 会社員)

### 3. 社会実験の結果（市民アンケート）

#### ② 北上駅鍛冶町線沿線の方のアンケート結果

- 回答数 26件(29戸中)
- ウォーカブル化の推進に賛成する方は16名(「どちらでもない」が8名)
- 「反対」と回答した方は2名
- 「どちらでもない」と回答した方の自由記述欄
  - ・ 若い人達のモラルの低下による騒音などがある
  - ・ 市で決める事に何か意見したからといって変わるとは思えないので嫌だろうが合わせるしかないから。
  - ・ 今まで車が通行できたのができなくなると困る
  - ・ そもそも 諏訪町通りがシャッター通りなのでその所を何とかしない限り人は集まらないと思います。
  - ・ 反対だとまでは言わないが、歩く人は外から来る人なのか、地域住民なのか、どんな人たちがそこを通っていて、それは、通学なのか、通院なのか事前に調べての実験だったのか、いろいろと疑問。何がしたいのか、思い描いているものは何なのか。さっぱりわかりません。わからないので、この答えにしかありません。
  - ・ 学生通りとしてプランが連動することであり、大学の新設が実現しない場合には賑やかにはならない。映画館の移動も手痛い損失になり、当プランの進行に逆行してしまうことになり残念である。
- 「反対」と回答した方の自由記述
  - ・ そこが病院になると聞いていたので楽しい街とは違うと思うから。
  - ・ 道路を整備または通行規制しても、魅力ある歩きたくなる街へ変化するには、商店街の活性化も必要。今あるもの店がそれに向けて努力するのは難しいのではないか。商店や食べ処よりも、夜営業の店が多く、子供を連れて歩きたくなるような店、立ち寄りたくなる店やイベントがないと人は集まらないと思う。学生さんや市役所の職員さんなどで駅から通学、通勤している人が、立ち寄れる店も少ないのではないか。あとは季節や天候の問題。雪国で寒いだけを気にすればよかったが、近年は暑さ対策も十分にしなくてはならない。それらの対応まで含めて検討されているのかが、疑問。

### 3. 社会実験の結果（市民アンケート）

#### 北上駅鍛冶町線沿線の方のアンケート結果

##### ■ 「賛成」と回答した方の自由記述欄(part①)

- ・ **みんなが集まる町にしたい**です。
- ・ 色々な事を試す事が大事
- ・ 家の近くに歩いて出かけたくなるお店がたくさんできたら楽しいと思うから
- ・ 現在人気のあるショップ等が無いので、歩いて散策するという点としては、現状はあまり意味がないのではないと思いますが、今後商業店舗が増えてくれば人の流れができると思うので賛成です。
- ・ 人を寄せる魅力を創るきっかけになる
- ・ 人が賑わう。
- ・ 通勤通学以外で歩く人が増える方が賑わうから。**人通りが増えるとお店も増えるから。**
- ・ ベンチテーブルの数が少なすぎる。キッチンカーまで遠い。専北だけではなく小学生や中学生の発表の場も儲けた方が良くも。発表時は通りに並行にするのではなく垂直に(通りを塞ぐ感じで)ステージ設定をした方が良い
- ・ **歩いて楽しいという精神面、歩くことによる身体的な健康面、双方に良いと思う。**また、商店街がそれで盛り上がってくると社会的にも良いと思う。

### 3. 社会実験の結果（市民アンケート）

#### 北上駅鍛冶町線沿線の方のアンケート結果

##### ■ 「賛成」と回答した方の自由記述欄(part②)

- ・ 魅力ある店舗や見るところが無い。**通りに大きめのパーキングを作る方が人が来やすい。**
- ・ ただ、**それに見合う街の形成と魅力アップなエリアにする為の超長期の活動が必要だ**と思います。
- ・ 発想は良いと思います。しかし、ツインモールから映画館が撤退すると、この通りを歩く若者が減ると思う。にぎわいを生み出すには、新ツインモールが魅力的でなければならない。イオンに行かなくても満たされる、そんなお店が増えれば、市外からもくる人が増えるでしょう。オフィスの増えたツインモールは味気ないです。**高層マンションやホテルが並ぶこの地域は、活気を生み出す可能性を秘めています。**そのため、このチャレンジは興味深いです。北上は文学や芸能など文化の香り高い街です。文化を通じて交流ができれば素晴らしいです。大学創設は賑わいにつながりません。街中が魅力的でないと、学生はすぐ外に出て行くだけです。**今回のように、市民の意見を聞く機会を設けるのは価値あることだと思います。**今後の構想に期待しています。

### 3. 社会実験の結果（市民アンケート）

#### 北上駅鍛冶町線沿線の方のアンケート結果

- 諏訪神社前の一方通行化が生活、仕事にどのような影響があったか(自由記述)
  - ・ 神社前三差路の交通量が増えた(南側)
  - ・ 仕入れが出来なかった
  - ・ 栄泉堂に寄れなかった
  - ・ お彼岸の季節にしかでない彼岸の団子を買えなくて迷惑だった。楽しみにしてたのに
  - ・ 店舗へ行く際に、回り道をしなければならない
  - ・ 歩き方が楽になる
  - ・ とても**不便で邪魔**に感じた。
  - ・ 特に**不都合は無かった**。アーケード跡が元々一通だったから。
  - ・ **不便になった**
  - ・ 飲食店をしていますが普段よりお客様が来店して来なかった店をしてる所は意味なかったのでは？もう少し若者が目にとまる様な物だったりイベントだったり良かったのでは？
  - ・ 規制については、**とくに影響はなかった**が、道路中央に置かれたオレンジ色の柵が、神社の生け垣や石垣となじまず、違和感をもった。
  - ・ **不便でした**。知らない人がほとんどでしたし、これが日常だと煩わしいです。
  - ・ 気のせいとその週のランチのお客様が少なかった気がする。
  - ・ 駅への送迎などで多少の時間的なロスが出た
  - ・ **特に影響なし**
  - ・ 花園町一丁目から自動車で駅前方面へ移動する際に**不便を感じた**。

### 3. 社会実験の結果（市民アンケート）

- ① ストリートデザイン推進会議で検討したアイデアは、目指すまちの姿の実現に効果がある。
- ② 実験区間のウォークブル化に対し、市民、沿道の方のほとんどが賛成の意向である。
- ③ 道路空間だけでなく、沿道空間の魅力アップも必要である。
- ④ ウォークブル化に賛成する意見が多い一方、車社会を考慮し、駐車場整備を求める意見も多い。
- ⑤ 諏訪神社前の一方通行化規制については、賛否が拮抗。

### 3. 社会実験の結果（その他）

実験前に想定していなかった、**エリアマネジメント**の観点での効果も確認できた。

#### ケース① 諏訪神社×菊池園×ワガスポ

- いずれも北上駅鍛冶町線沿線に位置する歴史ある事業者
- ワガスポの佐藤仁実さん、娘さんが「まちの保健室」でポールウォーキングの講師をしていることから、出発地のhoKkoから諏訪神社に向かい、境内で菊池園のお茶、菓子工房-NAGOMI-のどら焼きを楽しむミニツアーを企画、実施した。



### 3. 社会実験の結果（その他）

#### ケース② フルーツきやなぎ×グリム

- グリムはかつて北上駅西口付近に店舗があり、現在は更木にある工場でパンを製造。市内での販売はない。
- 社会実験中、きやなぎの代表がグリム販売員に声がけ。きやなぎの八百屋カフェでフルーツサンドを販売していない日にグリムのパンを販売しないか、フルーツサンドにグリムのパンを使えないか、今後検討していくこととなった。



### 3. 社会実験の結果（その他）

#### ケース③ コミュニティサロンきずな×諏訪町商店街

- コミュニティサロンきずなは本通り二丁目にあるNPOが運営するコミュニティスペース。9月27日(土)に鍛冶町線上でフリマを開催した。
- 実験期間中、きずなの代表が諏訪町商店街エリアを毎日歩いているうちに、沿道事業者の方とコミュニケーションをとるようになった。中には代表と取引がある事業者もいたとのこと。
- 商店街振興組合の枠にとらわれることなく、同じ地域で頑張っている事業者同士がつながりをもってまちなかを良くしていきたい、とおっしゃっていた。



ウォーカブル化の推進→公共空間を使うプレーヤーがつながる



**エリアマネジメントの推進に効果がある**

# 目次

---

1.背景、目的

2.きたかみウォークブルチャレンジの概要

3.社会実験の結果

4.今後検討する課題

5.まとめ

6.参考資料

## 4. 今後検討する課題

### ■ 滞留空間の位置

- ・ 今回の実験は、今の道路状況で実施したため滞留空間を設けた位置はすべて北側歩道。
- ・ 北側歩道は日差しが直撃し、歩行者が諏訪町名店街側の歩道を歩いている様子も見られた。
- ・ 将来的に沿道の建物がどう変わっていくかは不透明だが、滞留拠点の位置については再度検討していく必要がある。

### ■ 事業推進体制の構築

- ・ 今回の社会実験は主に市職員が中心となり準備、当日対応、撤収作業を行った。
- ・ 一方、整備後に道路を使うのは民間が主であることから、民側の係わりをもっと増やしていく必要がある。
- ・ ストデザ会議のアイデアをベースに実験で実施する項目を市が提案したため、民側が「自分事」としてとらえられなかった可能性もある。仮に社会実験第2弾を実施する場合は、アイデア出しのところから民をもっと巻き込む必要がある。

# 目次

---

1.背景、目的

2.きたかみウォークブルチャレンジの概要

3.社会実験の結果

4.今後検討する課題

**5.まとめ**

6.参考資料

## 5. まとめ

### ■ ウォークアブル化に賛成する方が多い

- ・ いずれのアンケート結果を見ても、ウォークアブル化に対して前向きな意見が多い。

### ■ ウォークアブル化に伴う一方通行化は今後も要検討

- ・ 交通量ベースでは大きな影響は確認できなかった。
- ・ 一方、「不便になった」、「影響はない」という意見が拮抗。

### ■ 沿道空間の整備も同時進行で検討が必要

- ・ 「道路よりも先にお店を整備すべき」という趣旨の自由記述があった。
- ・ 道路整備だけで終わりではなく、ストリートデザイン推進会議で検討した将来構想に基づき、沿道整備に関しても支援を検討していく。

## 5. まとめ

### ■ 近隣駐車場

- ・ 郊外からも人が来やすくするためには近隣に駐車場が必要、という意見が多かった。
- ・ 趣旨は無料駐車場の整備かと思うが、沿線には有料駐車場がある。魅力的な通りになることによって有料であっても利用する方が出てくると考える。

### ■ ベンチ、テーブルを配置した滞留空間、キッチンカー等の出店はにぎわい創出(人の姿が見える状態)に効果あり

- ・ イベント等を実施しなかった日も、歩行者数は比較用期間より多かった。



### ■ 今後の方向性

- ・ 社会実験の結果から、目指すまちの姿の創出には、道路空間の再構築が有効であることが確認できたことから、次のステップに進んでいく。
- ・ 諏訪神社前のウォークブル化については引き続き市民との対話が必要。

# 目次

---

1.背景、目的

2.きたかみウォークブルチャレンジの概要

3.社会実験の結果

4.今後検討する課題

5.まとめ

6.参考資料

# 6. 参考資料

## 市民アンケート 設問項目

＜該当する選択肢を○で囲んでください＞	
年 齢	10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上
性 別	男性・女性 ※空欄でも構いません
居 住 地	北上市内 北上市外
職 業	学生 会社員 公務員 自営業 経営者 アルバイト 家事専業 無職 その他( )
普段通行する頻度	毎日通る たまに通る ほとんど通らない
Q1 今回、実験区間を通行した目的を教えてください。	
通勤・通学 買い物 参拝 hoKko利用 キッチンカー等利用 その他( )	
Q2 今回、「人の姿が見える空間」を作るためベンチを置くなどしましたが、効果があると思う取り組みについて教えてください	
ベンチ・テーブルの設置 イベント キッチンカー等の出店 その他( )	
Q3 今回の試みが、まちの魅力向上(賑わい創出など)に繋がると思えますか。	
そう思う どちらとも言えない そう思わない	
Q4 実験区間を「歩いて楽しい、歩きたくなる道路にする(=ウォークアブル化)」ことについてどう思いますか	
賛成 反対 どちらでもない	
Q5 その理由を教えてください。	
( )	
アンケートは以上です。ご回答ありがとうございました。	

# 6. 参考資料

## 市民アンケート(沿道の方向け) 設問項目

＜該当する選択肢を○で囲んでください＞	
年 齢	10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上
性 別	男性・女性 ※空欄でも構いません
居 住 地	北上市内 北上市外
職 業	学生 会社員 公務員 自営業 経営者 アルバイト 家事専業 無職 その他( )
Q1 今回、「人の姿が見える空間」を作るためベンチを置くなどしましたが、効果があると思う取り組みについて教えてください	
ベンチ・テーブルの設置 イベント キッチンカー等の出店 その他( )	
Q2 ベンチ、テーブル等を設置するため、諏訪神社前のエリアを一方通行規制としました。それに伴い、生活やお仕事にどのような影響があったか教えてください。	
Q3 今回の試みが、まちの魅力向上(賑わい創出など)に繋がると思いませんか。	
そう思う どちらとも言えない そう思わない	
Q4 実験区間を「歩いて楽しい、歩きたくなる道路にする(＝ウォーカブル化)」ことについてどう思いませんか	
賛成 反対 どちらでもない	
Q5 その理由を教えてください。	
( )	
アンケートは以上です。ご回答ありがとうございました。	